10
October 2014
第726号
平成26年10月１日発行
（毎月１日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA



つながるオレンジリングの輪

特集

85歳以上の４人に１人が症状があるといわれている認知症。身近な物事として考えなければいけません。

今月号では、認知症を理解し、認知症になっても安心して生活できる地域をつくるために一人一人ができることを考えましょう。

できていたことができなくなったら要注意

認知症とは、さまざまな原因で脳の神経細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることで、記憶・判断力の障害などが起こる状態をいいます。認知症を引き起こす原因として最も多いのは、脳の神経細胞が死んでいく変性疾患で、「アルツハイマー病」などが当てはまります。そのほか、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、腫瘍や感染症などがあります。

認知症の兆候は、同じことを何回もやったり言ったりする、物の名前が出てこない、置き忘れ・しまい忘れ、今までできていたことができなくなるなどがあります。また、時間や場所の感覚があいまいになり本人が戸惑い、不安を抱くようになります。

認知症による「もの忘れ」は、加齢による「もの忘れ」と異なり、起こった物事自体を忘れてしまいます。例えヒントを与えられたとしても、その物事を思い出すことができない状態です。

時間の経過とともに変化していく症状

脳の細胞が壊れることで直接起こる中核症状は、もの忘れなどの記憶

Step 1　**認知症を知る**

正しく理解し、認知症の方やその家族の心に寄り添う

「認知症」という言葉は世間一般に浸透していますが、
その原因や症状はさまざまです。
専門スタッフ、介護家族の声を聞き、理解を深めましょう。



蛭田一雄さん（関口・63）
定年退職を機に、平成23年４月に鮫川村の実家を継ぐ。昨年７月からは母・シンさん（86）を介護し、ひだまり荘のデイサービスとショートステイを利用して介護とプライベートのバランスをとっている。農繁期には、シンさんと一緒に農作業に励む。

障害、日時・場所・季節の感覚が薄れる見当識障害が表れ、症状は時間の経過とともに変化していきます。約束の時間や自宅の場所が分からなくなったり、進行すると家族も認識できなくなります。また、考えるスピードが遅くなったり、２つ以上のことを対処することが困難になります。さらに、計画を立てて臨機応変に行動することが苦手になり、日常生活がうまく進まなくなります。

本人の性格や心理状況、環境などによって起こる周辺症状は、全ての認知症の方に当てはまるわけではありませんが、うつ状態や徘徊、幻覚、妄想などの症状が表れる場合があります。

認知症の方はできないことが増えていきますが、全てのことができなくなるわけではありません。家族や周囲の人が理解し、できない部分を手伝い、今まで通り人として大切にされることで心豊かに生活することができます。



地域包括支援センター
保健師・社会福祉士
鈴木芳子さん



オレンジリングとは…

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り支援する応援者の印です。「認知症サポーター養成講座」の受講者に渡されます。

私も母親も完璧にできなくていい



「お袋が認知症かもしれない」と思ったきっかけは、昨年７月に母親がガンの摘出手術のために入院したときでした。病室に置いてあるはずの金がなくなったと言い出したのです。私は「金がなくなるはずがないし、おかしいな」と思いました。また、手術によってストーマ（人工肛門）になりストーマ装具をつけて排泄の管理をすることになりましたが、何回教えても操作を覚えられませんでした。そして、今年１月に「アルツハイマー型認知症」と診断されました。

認知症の症状に気づいてから約１年、母親の症状は少しずつ進行してきました。怒りっぽい、服の着方が分からない、使用済みの尿とりパッドを隠すなど、最近では日にちの感覚がなくなってきました。一番つらかったのは、入浴しているときにストーマ装具を取ってしまい、排泄物をまき散らしてしまったときです。「きちんと風呂に入れよう」と思った矢先の出来事で、本当に参りました。現在でもストーマ装具の操作は覚えられず、「ストーマはパンツの中に入れてくれ」と何回言ってもだめです。足腰は丈夫なので昔からやっている農作業などはできますが、新しいことが覚えられません。

そんな中、地域包括支援センターのスタッフの方から「ほどほどだよ」という言葉をかけられ、肩の荷が下りた気がしました。また、別のスタッフの方には、「怒らないでね。我慢してください。優しくしてね」と声をかけられます。この言葉も心に響きました。いざというときに頼れる場所があることは、大きな支えになっています。

怒りたい気持ちを我慢して、相手の気持ちになって優しく接するように心がけていますが、たまに感情が抑えられず怒ってしまうことがあります。でも、それも仕方ないことです。私自身も母親も完璧にできなくていいんです。認知症の介護をはじめて約１年、いまだに葛藤はありますが、吹っ切れてきました。

最近では、傾聴ボランティア「みみの会」に参加させてもらっています。お世話になっている分、少しでも地域に貢献したいと思っています。



村住民福祉課健康係
蛭田みゆき保健師

体と脳を健康に保ち友人と楽しく過ごすこと

認知症の最も大きな要因は加齢ですが、予防できないわけではありません。認知症の原因となる病気にはさまざまな種類がありますが、多くの場合は脳の神経細胞が少しずつ死んでいくアルツハイマー病や脳梗塞などの脳血管疾患です。つまり、脳や脳の血管を傷つけないことが認知症になるリスクを減らすことにつながると考えられます。脳血管疾患を例にあげると、脳の血管が詰まったり切れたりすることを防ぐということです。健診結果で血管が詰まりやすい切れやすいと診断された方は、認知症になるリスクが高いということになり、注意しなければいけません。そのほか、認知症になった方の原因を調査すると糖尿病を患っていた方の割合が高いことが分かっています。生活習慣病を予防することが認知症の予防法の一つといえます。

体と脳を健康に保つためには適度な運動と自分に合った食事が重要です。具体的に、ウォーキングなどの有酸素運動をすることで脳に酸素を取り入れ、脳の血管を酸化させないことや自分に合ったバランス・量の食事を把握すること、酸化を防ぐポリフェノールを多く含んだ食材を適度に食べることなどが良いとされています。「自分はまだ大丈夫だろう」と思わず、今から習慣化させることで認知症になるリスクを減らすことができます。

また、脳を活性化させることも予防法の一つで、楽しみを持ったり人と交流することが効果的です。趣味



Step 2　**認知症を防ぐ**

体と心の健康が発症のリスクを減らす

認知症にならないために私たちにできることは？
もし、家族が認知症かもしれないと思ったら？
蛭田保健師に予防法や対処法を聞きました。

認知症に関する相談窓口

●**村住民福祉課　☎49−3113**
保健・医療・福祉に関する総合的な相談に応じるほか、各種保健福祉サービスを利用するときの申請窓口

●**村地域包括支援センター　☎29−1233**
高齢者の権利擁護、介護・健康など、総合的に高齢者を支援する拠点施設

認知症に関する相談や診療を行っている医療機関については、「県高齢福祉課ホームページ」で確認できます。

活動などを通して友人と楽しく過ごすことを心がけてください。

行政や地域で取り組む認知症・介護予防

村は、認知症予防を目的とした「脳いきいき教室」を平成25年度まで実施してきました。ウォーキングを基本に、記録をつけたり計画を立てたり、活動全体を通して脳を使うプログラムです。また、ウォーキングの習慣化を目指し、一部の卒業生たちは自主活動団体をつくり、ウォーキングを継続しています。このほか、認知症予防の要素が含まれた活動として、筋力づくり教室や地域サロン、行政区ごとの高齢者支援事業があります。

また、平成18年度から、将来的に介護が必要になる可能性が高い方を対象とした「二次予防事業」を行っています。認知症を含めた介護予防に効果があるといわれている運動や栄養、口腔などの機能向上を集中的に取り組んでいます。

変化に気づいたら抱えこまずに相談を

認知症は一部を除いて完治することはありません。薬や適切な対処法によって症状を抑えたり、進行を遅らせる治療が主流です。

しかし、完治しないからといって放置してはいけません。認知症は難しい病気ですが、決して特別なものではありません。病気が治らないときは病院に行くのは自然なことです。認知症もほかの病気と同じようにとらえ、悪化しないうちに病院へ行き、医師の診断を受けて適切な治療を受けましょう。早期発見と早期治療が重要です。

「認知症かもしれない」と思ったときは、役場住民福祉課や地域包括支援センター、医療機関などに相談してください。「おかしいな」「認知症かもしれない」と変化に気づいても、家族としては「専門機関に相談するほどではない」「認知症になるわけがない」と戸惑ったり否定する気持ちもあると思います。そのときは、専門機関でなくてもかまいません。話せる人に相談をしてください。

また、認知症のことを知られたくないと誰にも相談できず、抱え込んでしまう人もいるかもしれません。しかし、本人にとっても、その家族にとってもつらい状態が悪化するばかりです。適切な治療を受け、周囲の人や福祉サービスなどの支援を受けることで、お互いが少ないストレスで生活することができます。まずは抱え込まずに声に出すことが大切です。





右　ウォーキングによる認知症予防を目的とする「脳いきいき教室」。時間を計りながらウォーキングをする参加者
上　村民の店「すまいる」で開催されているサロン。地域の高齢者が集まり、民謡や語り部などを楽しんでいる

Step3　**認知症を地域で支える**

一人一人が できることを考える

もし、家族や友人、自分自身が認知症になったとき、安心して生活できる地域であるためには私たち自身の力が必要です。

85歳以上の4人に1人 人ごとではない問題

85歳以上の4人に1人が認知症の症状があるといわれています。認知症は特別な病気ではなく、家族や友人、自分自身、誰もが発症する可能性があります。人ごとではなく「自分の問題」として認識する必要があります。

認知症の方は、もの忘れなどの認知障害などから周囲の人とトラブルになる場合があり、介護家族が疲れてしまうことが少なくありません。しかし、周囲の人の理解と行動があれば、安心して生活することができます。周囲の人が認知症で困っている人に「何かお手伝いすることがありますか」と一声かけることで、認知症を抱える本人はもとより介護家族にも応援者がいることが伝わり、気持ちが楽になるでしょう。

地域に増えている「認知症サポーター」

認知症で困っている人に気づき声をかけるためには、認知症に関する知識があるとないのでは大きな差があります。そこで、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の方やその家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を養成する取り組みを行っています。





上・左　鮫川中２年生を対象に実施した認知症サポーター養成講座（７月２日実施）。認知症の病態や症状についての正しい知識や認知症の方やその家族と接するときの心構えなどを学んだ。平成 26 年度は修明高校鮫川校生と保健推進員を対象に講座を実施する予定

養成講座を受講しました（鮫川中学校２年）

優しく接することが大切だと分かった



山本菜々海（ななみ）さん

認知症の人への接し方や病気について知ることができたので良かったです。優しく接することが大切だと分かりました。認知症サポーターとして、ゆっくりと一つ一つ分かりやすく伝えられるようにしたいです。

村は、平成18年度から小・中学生や高校生、各種団体、一般村民を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しています。平成25年度までの受講者は延べ１３５４人で、人口に占める割合は県内で比較すると高い値となっています。

受講者には、オレンジリングが渡され、認知症サポーターとして自分ができる範囲の支援を考え、実行していきます。例えば、認知症に関心を持ち続けること、友人や家族に認知症について教える、オレンジリングを身につけるなど、何でもかまいません。

一人一人ができることを考え、認知症になっても安心して生活できる地域をつくっていきましょう。

INTERVIEW



認知症キャラバン・メイト
渡辺勝次郎さん
（木之根・72）

一歩踏み出すことが必要
困っていることに気づいたら
勇気を出して声をかけましょう

「認知症の本人は何もかも忘れて自覚はない」というのは大きな間違いです。まず本人が「何だろう、おかしいな」と感じ始めるはずです。「認知症かもしれない」「これからの人生どうなってしまうんだろう」など、本人でなければこの不安は分かりません。

認知症の方は、知的機能は衰えていきますが、感情が失われるわけではありません。「認知症ではない」と否定する気持ちになり、それを他人に指摘されれば余計にショックを受け、イライラして暴言を吐いたり、病院に行かなくなったりして症状が進んでしまいます。これらのことをあらかじめ理解し、認知症の人を安心させる必要があります。そして、一歩踏み出し、困っていることに気づいたら勇気を出して声をかけることが必要です。

認知症サポーターは、できる範囲でさりげなく援助できる「人間の杖」になればいいのです。まだ認知症サポーターになっていない方は、ぜひ講習を受けて「人間の杖」になってください。

認知症の方と接するポイント

- 尊厳を認める
- 失敗を責めることなく、温かく見守る
- できることはやってもらい、できないことはさりげなく支援する
- 何度も同じ話をするときは、初めて聞いたという気持ちで返答する
- 記憶がさかのぼってしまったときは、ある程度、話の内容を合わせる
- 話しかけるときは正面に行き、おだやかに話しかける

※認知症キャラバン・メイト…認知症サポーター養成講座で講師を務めるスタッフ

ぼくたち、わたしたちも認知症サポーター

困っていることを聞いてあげたい



橋本侑香（ゆか）さん

認知症は大変なことなので、周りにいる人が助け合い、支援して協力しないといけないと思いました。私も認知症の人がいたら助けて、困っていることがあったら聞いて、一緒に少しずつやっていきたいと思います。

認知症に対する考えが変わった



鷺野谷海翔（かいと）さん

適切な支援で認知症の人を助けられることや認知症をしっかり理解することが大切だということが分かりました。講座を受けて初めて知ることが多くて、認知症に対する考えが変わりました。認知症の人を助けていきたいです。

【小特集】

都市交流の力

村は都市住民や大学との交流を積極的に行い、都市住民に村の魅力を伝え広く発信するほか「よそ者」の目を通して村の魅力を再発見しさらなる魅力アップに取り組んでいます。

出張料理教室「まめで達者な料理教室」

鮫川村の「食」をアピール

1.「ひまわりの会」メンバーの指導で調理する参加者
2. 野菜と豆腐の肉巻き
3. 五目おこわ







出張料理教室「まめで達者な料理教室」は９月６日、東京都北区の赤羽文化センターで開催しました。

昨年に引き続き２回目の開催となった教室には、区民など30人が参加。村食生活改善推進員「ひまわりの会」のメンバー11人が講師を務め、村内産の農産物や豆腐・油揚げなどの大豆加工品を使った鮫川村ではおなじみの料理を和気あいあいと調理しました。参加者からは「おいしい」「食材が素晴らしい」などの声が多く聞かれ、調理方法や食材など村の「食」に感心し、興味を示していました。

また、今回の参加者の中には、６月に開催した「農村体験ホタルツアー」や昨年の出張料理教室参加者の姿が見られ、鮫川村のファンが着実に増えていることをうかがわせました。

東京農業大学短期大学部緑地工学実習

鮫川村の自然を生かして緑地工学を学ぶ

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は９月７日から13日までの７日間、村内で行われました。

実習には、学生34人が２班に分かれて参加。１班は、農村交流施設「山王の里」の竹垣、木柵作りや江竜田地内でヒノキの間伐作業を行いました。２班は、舘山公園の園路や階段を整備したほか、もりづくり100年委員会と一緒に公園内の手入れをしました。学生の皆さんは暑い日差しの中、汗をかきながら緑地工学を学びました。また、実習３日目の夕食は地元の人たちと一緒にバーベキューを行い、交流を深めました。



シュロ縄で木柵を作っている学生

実習で新たな発見ができたり身についたこともあったし、ヒノキの間伐をしてとても良い経験になりました。鮫川村に来たのは２回目で、最初に来たときは冬で、そのときとは違う鮫川村が見られました。あと、鮫川村は食べ物がとてもおいしいです。



環境緑地学科２年
宮坂（みやさか） 杏（あんず）さん

この記事は職場体験で広報紙作りに挑戦した鮫川中２年の藤田菜月さんと矢吹瑞樹さんが取材し、編集しました。（文：藤田菜月　写真：藤田菜月、矢吹瑞樹）

都市交流で広がるさめがわの魅力

大妻女子大学グリーンツーリズム体験実習

農山村の自然や暮らしに触れる

1．関根のぶ子さんの指導で柏餅の生地を練る学生
2．除草作業の説明を真剣に聞く学生たち



大妻女子大学のグリーンツーリズム体験実習は９月３日から５日までの３日間、村内で行われました。

この実習は、同大学家政学部ライフデザイン学科２年生を対象とした授業で、今回は学生など13人が参加しました。初日は、齋須寛一さん（新宿）の案内で朝日山登山に挑戦。２日目には、芳賀亨さん（江竜田）の指導で大豆畑の除草作業、芳賀元治さん（江竜田）の指導で江竜田の滝遊歩道の砂利敷きを行いました。最終日は、関根のぶ子さん（余所内）から柏餅づくりを教えてもらい、作りたてを味わいました。



初めて体験することも多く戸惑った様子でしたが、地元の人たちとの交流を通して農山村の暮らしに触れました。

東京大学地域経済フィールドワーク実習

農家の声を学生たちが聞く

1．農家に聞き取り調査をする学生たち
2．熱心にメモを取る学生





東京大学農学部の地域経済フィールドワーク実習は９月１日から４日までの４日間、村内で行われました。

フィールドワークの手法を実践形式で学ぶことを目的に毎年実施され、鮫川村で実習が行われるのは今回が初めてとなりました。

実習には、学生など19人が参加。初日は、農産物加工・直売所「手・まめ・館」や学校給食センターなどの施設を見学し、村づくりなどについて理解を深めました。２日目以降は、実際に村内農家を訪問し、生徒たちが興味を持った内容について聞き取り調査を行い、データや資料を集めました。

参加した学生たちは農家とふれあうことで、さらに村に興味を持った様子で「また鮫川村に来ます」と口にする姿が見られました。

水痘（すいとう）ワクチンが定期予防接種化します

村は、予防接種法に基づき平成26年10月1日から水痘ワクチンの定期予防接種を行います。対象のお子さんがいる保護者の方は、役場住民福祉課健康係で予診表を受け取り、各医療機関で接種してください。

対象者・接種回数　①生後12カ月（1歳）～36カ月（3歳）・2回接種　②生後36カ月（3歳）～生後60カ月（5歳）・1回接種

接種方法　初回接種から3カ月以上の間隔をおいて2回目接種　※生後36カ月（3歳）から生後60カ月（5歳）までのお子さんは、1回接種のみです。ただし、予防接種として受けられるのは平成26年度限りとなります。

医療機関　県内医療機関

その他　▼すでに水痘（水ぼうそう）にかかった方は、接種対象外となります。▼任意接種として水痘ワクチンを接種した方は、すでに接種した回数分の接種を受けたとみなされます。

■**問い合わせ**　村住民福祉課健康係☎49－3112

第20回福島県知事選挙は 10月26日（日）

私たちの声を県政に反映させる大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

投・開票日　10月26日（日）

投票できる人　平成6年10月27日までに生まれた方または平成26年7月8日までに転入して選挙人名簿に登録されている方

投票時間　午前7時～午後7時

【期日前投票】

次の要件で投票日に投票所に行けない方または行けないと見込まれる方は、投票日前に投票ができます。▶投票日当日に仕事や冠婚葬祭などで投票に行けないとき▶レジャーや買い物などの私用で投票日に投票に行けないとき▶投票日当日に出産、手術などにより歩行困難であると見込まれるとき▶引っ越しにより他の市町村に住んでいると見込まれるとき

期間　10月10日（金）～25日（土）　午前8時30分～午後8時

期日前投票所　村役場村民ホール

その他　足が不自由な方で車いすなどを利用している方は、期日前投票をお勧めします。また、期日前投票所には診療所で行っている送迎バスを利用することができます。運行日は月曜日（地域指定なし）、火曜日（西野・西山・富田方面）、水曜日（中野・東野方面）、木曜日（青生野方面）です。利用する場合は、必ず村診療所（☎49－2028）に電話で予約してください。

■**問い合わせ**　村選挙管理委員会☎49－3111

仮設焼却施設周辺 空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

■**問い合わせ**　村地域整備課環境係☎49－3196

■**施設周辺の空間線量**（9月19日実施）　［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.11
	青生野小学校	0.10
	朝日山登山道入口	0.10
	青生野肥育組合	0.13
	鹿角平観光牧場	0.08

仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	施設東側120m	0.11
	施設南側120m	0.14
	施設西側120m	0.13
	施設北側120m	0.17
	仮置場看板付近	0.08
	石久保線起点	0.13
	石久保線終点	0.10
	和協管理棟付近	0.12

軽自動車税が変わります

平成26年度の税制改正にともない平成27年4月1日から軽自動車税が変更となり、平成27年4月1日以降に新規登録された車両について新税率が適用されます。（表1②・表2②参照）

【税額の据え置き特例措置】

平成27年3月31日までに登録された車両は現行の税率が適用されます。（表1①・表2①参照）

【経年車への重課税】

自動車が環境に与える影響を考慮し、新規登録から13年以上経過した軽自動車に普通自動車と同等の重課税が適用されます（表1③参照）。

■**問い合わせ**　村総務課税務係☎49-3111

【表1】四輪以上および三輪の軽自動車

車種区分		① 平成27年3月31日までに新規登録した車両（現行の税率）	② 平成27年4月1日以降に新規登録した車両	③ 新規登録から13年以上経過した車両（重課税）
乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
貨物用	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
軽三輪		3,100円	3,900円	4,600円

【表2】原動機付自転車および二輪車など

車種区分		①現行	②新税率
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	二輪で50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	二輪で90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
軽自動車	二輪で125cc超250cc以下	2,400円	3,600円
	その他で660cc以下	2,400円	3,600円
小型特殊自動車	農耕作業用自動車	1,600円	2,000円
	その他	4,700円	5,900円
二輪の小型自動車で総排気量250cc超		4,000円	6,000円

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

8月18日～9月12日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
ナス	不検出		不検出			31	
カボチャ	不検出			不検出～26		不検出	
ピーマン	不検出						不検出
サツマイモ	不検出	不検出					
キュウリ	不検出	不検出		不検出		不検出	
ジャガイモ	不検出		不検出	不検出～18		不検出	
ミョウガ	不検出	不検出	不検出	不検出～12	不検出	12	不検出
オクラ		21					13～34
スイカ	不検出			不検出			
インゲン				9	16	15	
クリ				不検出～15			
ブドウ						不検出	
モモ						不検出	
イノシシ肉						21	49～265

■**問い合わせ**　村農林課☎49-3114

さまざまな分野で頑張る姿をご紹介
子どもたちの活躍が止まらない

少林寺拳法福島鮫川道院拳友会
全日本少年少女武道錬成大会で２組が優秀賞に輝く

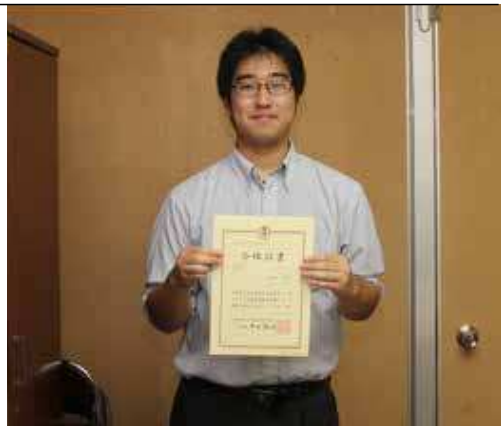

左から圓井さん、塩田さん、藤田さん、高木さん

８月９日に日本武道館で行われた「全日本少年少女武道錬成大会」で少林寺拳法福島鮫川道院拳友会の圓井空志さん・塩田和也さんの組が中学生段外の部、高木利緒さん・藤田拓朗さんの組が少年６級の部で、それぞれ優秀賞に輝きました。「緊張したけど蹴りや気合いが良くできた」「まだまだ改善点がある」「金メダルを取れたので普段の生活もしっかりしたい」など、大会を振り返ったあと、今後の目標を話しました。

修明高校鮫川校３年・岡部孝司さん
危険物取扱者試験乙種全類合格

修明高校鮫川校３年の岡部孝司さん（大竹）は、昨年度から危険物取扱者試験を受験し、今年６月に実施された試験で乙種１類から６類までの全類に合格しました。普通科に通う生徒が取得することは珍しく、同校では初めてのことです。

現在、岡部さんは県内で製造業への就職を希望し、就職活動に励んでいます。「今回の資格取得を一つの武器として、就職活動に生かしたい」と話してくれました。


ワープロと漢字能力検定の試験にも合格した岡部さん

修明高校鮫川校軟式野球部
全国高等学校軟式野球選手権南東北大会に出場


野球部員と助っ人として新人戦に参加した卓球部員

修明高校鮫川校の軟式野球部は８月２日・３日に開催された「全国高等学校軟式野球選手権南東北大会」に福島県第２代表として出場しました。大会では、前年度覇者の羽黒高校と対戦し、７回コールド負けという結果でしたが、少ない人数ながらも声と気持ちを出して健闘しました。また、同大会で３年生が引退し、新人チームは６人と野球をするにも厳しい環境ではありますが、１勝を目指して日々の練習に励んでいます。

エン・ドゥ・ライフ　Vol.6

縁DO LIFE ～笑顔を力に～

緑のふるさと協力隊
遠藤敬介さんの鮫川村体験記

村の一番の魅力は地域の人たちの温かさ
感謝を忘れず、貢献できる方法を考える

こんにちは。緑のふるさと協力隊の遠藤敬介です。

私が鮫川村に来てもう半年が経過しました。この半年だけでなかなか濃い日々を過ごしてきたのではないかと思います。

さて、これから鮫川村での後半が始まるわけですが、その前に東京で緑のふるさと協力隊の同期が集まり、中間研修が行われました。全員各派遣先でさまざまな活動をしてきたので面白い話を聞くことができました。

鮫川村は４０００人弱の人口ですが、中には人口２００人程の派遣先もありました。場所によって問題もさまざまですが、共通しているのは人口減少です。今は若い人が都会に集まり、農山村がだんだんと消滅していきます。そこで課題となってくるのが、いかにして若い人を呼び寄せられるかということです。そのためには、まず農山村をグリーンツーリズムなどで知っていただき、興味をもってもらうことから始まります。インターネットのみならず、現地で活動してこそ感じられる魅力があるはずです。

８月27日から４泊５日で「若葉のふるさと協力隊」という短期の農村体験を受け入れました。参加者は全員若くて、ほとんど都会育ちでしたので、ギャップに驚いていました。食べる量、農作業、虫の多さなど、数え切れなかったと思います。ハードで大変そうでしたが、それでも鮫川村をこの５日間で故郷のように感じられたと言っていました。私も鮫川村の魅力は、食、水、星空などいろいろ挙げられますが、一番の魅力は地域の方々の温かさだと思います。この半年で私は助けられてばかりで貢献できていることは少ないと思います。緑のふるさと協力隊としてこれからは、感謝の気持ちを忘れずに、自分は何で貢献できるのだろうと考えながら活動していきたいです。

「広報の記事をいつも楽しみにしているよ」との声をいただき、とてもうれしかったです。これからも頑張りますので、よろしくお願いします。



1


3


2



4

1.「若葉のふるさと協力隊」の参加者とお世話になった皆さんと一緒に記念撮影
2. 関根のぶ子さん（余所内）にみその仕込みを教えてもらいました
3. 自宅の隣の畑を借りて野菜を作っています。トウモロコシが良く育ちました
4. 全国の仲間と情報交換をした緑のふるさと協力隊中間研修

facebook 「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」「いいね！」お願いします。

むし歯のない子は４人
８月21日実施の３歳児健診

８月21日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児７人中４人でした。



鈴木美桜（みお）ちゃん
①西山字鐘撞堂
②父・大輔さん、母・愛子さん
③嫌でも毎日歯みがきを頑張りました。



黒田奈花（なな）ちゃん
①西山字水口
②父・実大さん、母・美保さん
③甘い物が大好きですが、歯みがきも嫌がらずにやっています。



根本華歩（かほ）ちゃん
①富田字中沢
②父・幸治さん、母・真代さん
③毎日歯みがきとフッ素を頑張っています。



石井珀久竜（はくりゅう）くん
①赤坂東野字木戸沢②父・康一さん、母・美香さん
③眠くても毎日の夜の歯みがきをお姉ちゃんと一緒に頑張りました。

①住所　②保護者　③むし歯にならないために頑張ったこと

日頃のご協力に感謝
鮫川たんぽぽの家感謝祭



ダンスを披露する利用者

「第５回鮫川たんぽぽの家感謝祭」は９月６日、同施設で行われ、多くの来場者でにぎわいました。会場では、同施設で製造している商品を販売したほか、餅つきパフォーマンスや和太鼓演奏、踊りなどが次々と披露され、来場者を楽しませました。

強豪三春町チームに惜敗
第８回福島県市町村対抗軟式野球大会



熱戦を繰り広げた選手たち

市町村対抗軟式野球大会に出場した鮫川村チームは９月21日、県営あづま球場で行われた１回戦で三春町と対戦しました。序盤にリードを許しましたが、最終回に１点を奪取。結果は１対２と惜しくも敗れてしまいましたが、粘り強いプレーを見せました。

プロ奏者の音色に酔いしれる
Nobyトランペットコンサート



力強い演奏を披露したコンサート

トランペット奏者・Ｎｏｂｙのトランペットコンサートは８月30日、村公民館で行われました。本村での演奏は３回目。村内外から約40人が訪れ、ジャズやポップス、演歌などさまざまな名曲が披露されました。来場者はプロ奏者の音色に酔いしれていました。。

村政TOPICS

村敬老会を開催
776人の長寿祝う



80歳到達者へ記念品贈呈

平成26年度鮫川村敬老会は９月13日、村農業者トレーニングセンターで開催しました。今年は満75歳以上の776名（男性309名、女性467名）を招待。村の最高齢は関根ミツさん（水口）で満104歳です。

敬老会では、大樂村長が「幾多の困難を乗り越え、地域振興に尽力いただいたことに感謝と敬意を表します」とあいさつし、米寿、80歳到達者、金婚夫婦に記念品を贈呈。来賓祝辞のあと、子どもたちが高齢者へ感謝する作文を発表しました。

敬老会終了後には、アトラクションが行われ、村内７地区の高齢者支援団体とふるさと芸能クラブが歌や踊りなどを披露し、参加者

ほっとニュース

村出身画家の作品を展示
齋須由美子さん（京都市）から村へ寄贈

本村出身で京都市在住の齋須由美子さんから村に絵画が寄贈されました。この絵画は、本村出身の画家・鈴木春栄氏の作品で、社団法人新興美術院が主催する「第21回新興展」に出展され、その後、棚倉町にある料亭に飾られていました。この度、同店が取り壊されることをきっかけに本村と縁があることから「村で活用していただきたい」と寄贈の申し入れがありました。

村では、ありがたいご厚意に感謝し、役場庁舎２階のエレベーター前に展示しています。来庁の際には、ぜひご覧ください。


寄贈された絵画

渡瀬Ｃチームが熱戦制す
村長杯争奪ゲートボール大会


ゲートめがけて球を打つ選手

「第８回鮫川村長杯争奪ゲートボール大会」は９月18日、さぎり荘ゲートボール場で開かれました。大会には、１２チームが出場。予選リーグ戦、決勝トーナメントを戦い、渡瀬Ｃチームが優勝しました。

▶**結果**①渡瀬Ｃ②西野Ａ③東野Ａ③渡瀬Ａ

広報紙づくりに挑戦
鮫川中２年生が職場体験


シャッターを切る生徒

鮫川中２年生の「職場体験」は９月９日・10日、村内８カ所の事業所などで行われ、職業への理解を深めました。役場では４人の生徒を受け入れ、矢吹瑞樹さんと藤田菜月さんが広報の仕事を体験しました。２人が取材した記事は８・18ページに掲載しています。

村政TOPICS

鼓笛パレードなどで交通安全呼びかける

秋の全国交通安全運動期間に先立ち９月19日、村交通対策協議会と交通安全協会鮫川支部主催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。

村内の交通関係団体のメンバーらが参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小の児童鼓笛隊の演奏に合わせて広畑地内から鮫川小までを行進し、沿道の村民に交通安全を呼びかけました。

また、鼓笛パレード終了後には、「交通安全テント村」が宿ノ入交差点と中野町地内の国道289号沿いで行われ、通行するドライバーにチラシなどを配り、安全運転を呼びかけました。


息の合った演奏をする児童鼓笛隊

は楽しいひとときを過ごしました。

KOUICHI YABUKI



やぶき・こういち●平成３年９月生まれ。赤坂西野字大塩在住。ヤブキ設備（大塩）勤務。趣味は釣り。よく寝ることを心掛けている

村民【随想】リレー ―― (195)

矢吹晃一さん

5年目

私は、高校を卒業してから実家でやっている水道設備の仕事を継ぎ、日々、勉強の生活を送っています。

なぜ、タイトルを「5年目」にしたかというと、私が鮫川村の行事や商工会青年部、消防団などの活動に参加させていただくようになり、鮫川村に大きく関わりをもつようになって5年目を迎えたからです。

卒業するまでは、あまり鮫川村の行事などに参加せず、住んでいながら鮫川村について良く考えたことがありませんでした。しかし、商工会青年部や消防団など、数々の行事に参加し、その活動を通して鮫川村について5年ではありますが、少しずつ考えるようになりました。微力でも地域の役に立てればと思っています。

これからも商工会青年部や消防団などの活動を通して数多くのことを学び、鮫川村に貢献していければと考えています。

そして、いろいろな活動を通して学んだことを仕事や私生活などにも生かしていければいいなと思っています。

今回、このような文章を書かせていただいて、ありがとうございました。ただ、文章を書くことが得意ではないので、不備があったら申し訳ありません。

■

次は、金澤諒さん（渡瀬字福原）にバトンタッチ！

俳句

幼な日のかくれんぼーや蝉しぐれ　中井　恒峯
マメシンクイの大発生に悩まされ　北條素人坂
原爆の語り継ぐは九十の老　松本　精一
願い込めとげぬき地蔵の肩拭う　前田　縫子
轉りに姿求める木の繁み　黒田　寿香
菅生の里守る人らの踊りの輪　齋須　信子
おじぎして誰か待つよな秋海棠　鈴木　米子
新聞の折込み広告秋の旅　山本　恵子
作句とは蟷螂の斧邯鄲の夢　土　竜庵
戦場を駆けさす勿れこの球児　山本五十鈴

短歌

たおやかに咲いては匂うクリスマスローズの花に心癒さる　鈴木イミ子
地上なるパラダイスに逢う旅行とは人をも磨く光に満ちて　佐藤　春枝
クラス会宴も酣　総立ちとなりて今年も頑張るのポーズ　矢吹　定子
趣味という境を越えて手入れする花の名さえも知らぬが儘に　須藤　幸子
畑より確かな健康頂いて生きる幸せも　汗の賜物　水野　珠子
いずれ亦逢う日もあらんと遙かなる礼文島の知人に思う　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 31

球を打った分だけ上達するスポーツ



鮫川卓球クラブ

代表　古舘勝人／会員16名

今年6月に活動をはじめたばかりの「鮫川卓球クラブ」は、水曜日と土曜日の週2回、農業者トレーニングセンターで練習を行っています。

健康づくりと技術向上を目的に酒飲み友達が集まって団体をつくることになりましたが、現在は主に中学生が参加して汗を流しています。「スマッシュやサーブなどが決まったときは気持ち良いです」「ラリーが続くと楽しいです」など、楽しみながら教わっています。

また、「一見、楽そうに見えるけどきつい面もある」と話す通り、「動きが早くて激しいので、ボールのスピードについていくのが大変です」という声が聞かれました。しかし、個人競技なので球を打った分だけ上達するといいます。活動をはじめて約4カ月、少しずつですが上達しているそうです。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

モネ　庭とレシピ
（林綾野著、講談社）



19世紀、フランスの印象派画家モネは、庭造りと食事を愛した画家です。広大な庭を丹精し、自作のレシピで家族や友人をもてなしたモネ。こだわりの巨匠のあまりに完璧な終の棲家！お気に入りの料理を再現、レシピ21点を掲載しています。

人生はニャンとかなる！
（水野敬也・長沼直樹著、文響社）



かわいい猫の写真とその写真にマッチしたキャッチコピー、さらに272個の偉人の逸話・格言で人生の大切な教えが学べる新しいタイプの本です。

第3土曜日は **家族一緒に読書の日**

言葉なく風情もないが畑土はわれを待ちおり緑の季節　溝井　清乃
何くれと世話してくれし本家なる義姉の心の映る彼岸花　坂本　伊紀
抑止力無くば戦争は防げぬと議論す友の辺り耀う　一　平　子
台風に見舞われ荒れし墓参り亡夫に報告無事なる今を　石井　幸子
吹き荒ぶ風に打たれし朝顔の負けじとばかりにパッと咲きいる　須藤シツエ
愛犬のマリヤは凄く賢くて小さいなれど存在感あり　前田喜三子
見分けする曾孫の顔を見るたびに閉ざされ勝な心あかるむ　関根ヨネ子
盆過ぎし朝餉の窓に陽の差す位置の日毎移ろう秋はもうすぐ　藤田千代子
移り行く季節を払う風荒れて雨音激しき夏の夜なり　関根ハナヨ
濡れ光る墓石に添える菊の花夫の笑顔の顕ちいるような　関根　富久
異常なる記録の連続吾が国土神風なりしか復興他所に　板橋　源良
野の花を飾りてつくる盆棚にあなたを迎える四度目の夏　関根キヌ子
列島の異常気象の被災地にお見舞い冥福ただ祈るのみ　矢吹　一二
百五十八命名されたる小島群日本の国土に凛と輝け　北條　平



このページは
私たちが作りました

(文：矢吹瑞樹　写真：藤田菜月)

あなたの光る技
キラり
Vol.27



旅行に行くたびに趣味の一つであるカメラで写真を撮りその写真をアクリル画として描いています。

趣味の一つとして空いた時間にアクリル画を楽しむ高木正則さん。公民館事業のアクリル画教室をきっかけに13年間絵を描き続けているといいます。また、愛好会を結成し、多くの人にアクリル画を広めています。正則さんは、友人に絵をプレゼントすることもあり、たくさんの人を喜ばせています。

アクリル画は、写真で見たものをそのまま描く必要はなく、自分のイメージを取り入れて自由に描けるといいます。何度も絵の具を重ねたり多くの技法を取り入れ、絵を完成させていきます。絵を描き終わるのには、長い時間がかかり、「いっぺんに描けないので大変だ」と話してくれました。

また、各地の美術館に行き、いろんな画家の絵を見て、構図や筆の使い方を学んでいるそうです。また、友人などに絵を見てもらいアドバイスをもらうことも上達する一つのポイントだといいます。

「好きだからこそ続けてこられた。やる気と根気で書き続けることに意味がある」と誇らしげに話しました。



多くの筆を使いこなし、いくつもの絵を描いている正則さん。

アクリル画
高木正則さん
たかぎ・まさのり／赤坂中野字新宿／77歳

好きだからこそ続けてこられた仲間のアドバイスが上達のポイント

若者の広場　No.118

Young Plaza

芳賀大輔さん

生まれ育った場所だから落ち着く



はが・だいすけ
平成４年９月19日生まれ　22歳
Ｏ型　おとめ座
趣味はスノーボードとゴルフ
西山字摺合在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

３カ月前に飼いはじめた愛犬に夢中です。毎朝５時に起きて散歩をするのが日課です。仕事の疲れも癒されます。

■これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

愛犬をドッグランに連れて行きたいと思っています。ほかの犬と一緒にのびのびと遊ばせたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村はのどかで静かなところがいいと思います。あとは、生まれ育っている場所なので落ち着きます。ただ、何をするにしても村外に出ないといけないので少し不便です。

■鮫川村に要望などはありますか？

スーパーなどがあれば買い物のために村外に出なくて済むので、いいと思います。運転ができないお年寄りは不便なんじゃないかと思います。あとは、村内に会社が増えれば村外の会社に勤めなくていいので、地元に残る若い人たちが増えると思います。

■

次は小林大起さん（赤坂東野字山口在住）の予定です。

学校だより

（120）

青生野小学校編

響け！　心のハーモニー

「第68回福島県小中学校音楽祭東白川地区大会」が８月20日に棚倉町文化センターで行われました。今年度の発表曲は「Best Friend」。友達思いで優しい青生野の子どもたちにぴったりの曲です。

当日は、緊張しながらも練習の成果を発揮し、透明感のある美しい歌声を披露しました。審査員からは「一人一人がしっかりと歌っていて、声の響きも素晴らしく、12人とは思えないほどだった」というお褒めの言葉をいただきました。保護者の皆さんも「聴いていて涙が出そうだった」と感激した様子でした。

自分たちの歌声が皆さんから高く評価されたことで、子どもたちは「何事も本気でやればできるんだ」という自信を得ることができました。



親子のふれあい　魚つかみ取り体験

８月17日、夏休み恒例の親子活動を行いました。今年は、魚のつかみ取り体験や水遊び、スイカ割りなどをして楽しい一日を過ごしました。

初めは水の冷たさに体がこわばっている子や魚の感触に悲鳴を上げている子がいましたが、最後には素手で魚をわしづかみにしていました。

取った魚は、お父さんやお母さんの手ほどきを受けながら、自分たちで水洗いをしたり、はらわたを取ったり、串に刺したりしてから、炭火でじっくり焼きました。焼きたての魚は新鮮で香ばしく、子どもたちはおいしそうに頬張っていました。

親子でふれあいながら過ごした一日はきっと子どもたちの心にすてきな思い出として残ったことでしょう。



（文・写真／青生野小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ保健

献血にご協力ください

実施日　10月22日（水）

場所・時間　▼農産物加工・直売所「手・まめ・館」…午前9時30分～午後1時▼役場前駐車場…午後2時30分～午後5時

問　村保健センター☎29-1231

■献血対象者など

献血区分	200ミリリットル	400ミリリットル
体　重	男性45キロ以上 女性40キロ以上	男女とも 50キロ以上
年　齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※65歳以上の方の献血は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

ふくしま不妊セミナー

日時　11月1日（土）午後1時30分～4時

場所　県北保健福祉事務所（福島市）

対象者　不妊治療を受けている方や不妊治療を考えている方

内容　▼不妊の原因や治療法など▼不妊治療の体験談を元に、それに対する心構え

申し込み　県児童家庭課へファックスまたは電子メールで申し込んでください。

問　県児童家庭課☎024-521-7174／FAX024-521-7747／電子メールjidou katei@pref.fukushima.lg.jp

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を一部助成

村は、肺炎球菌による肺炎を予防する「高齢者肺炎球菌ワクチン」の接種費用の一部を助成します。希望する方は、医療機関と相談しながら接種してください。

対象者　村に住所があり居住し、平成26年度中に満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になるもしくは100歳以上で過去5年以内にワクチンを接種していない方

助成金額　4千円

接種期間　平成26年10月1日（水）～平成27年3月31日（火）

医療機関　県内医療機関（おおひら整形外科クリニックは除く）

接種手続き　①助成申請書を役場住民福祉課健康係に提出する。②村から接種希望者へ受診券などを発行する。③接種希望者は医療機関へ電話予約する。④予診票・接種済証・保険証などを持参して医療機関で接種する。

問　村住民福祉課健康係☎49-3112

歯の日は8日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

10月の担当は――

青生野小学校
保健委員会

山形美鈴さん
山形祐貴さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
村県民税：第3期
国民健康保険税：第5期
介護保険料：第5期
後期高齢者医療保険料：第3期
※納期限：10月31日(金)

information

募集

陸上自衛隊高等工科学校生徒

15歳から17歳未満の男子を対象とした採用試験です。入校と同時に特別職国家公務員になり、通信制の高等学校教育を受け将来、自衛隊の技術陸曹となります。

【一般採用試験】

受付期間　11月1日（土）～平成27年1月9日（金）

試験日　平成27年1月24日（土）

会場　白河市産業プラザ人材育成センター（白河市）

【推薦採用試験】

受付期間　11月1日（土）～12月5日（金）

試験日　平成27年1月10日（土）から12日（月・祝）までの指定する1日

会場　陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市）

その他　詳細については、自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所に問い合わせてください。

問　自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所☎024-024-0372

案内

労使困りごと休日電話相談

県と県労働委員会は、職場の中で起きている労働条件、解雇、退職などに関する困りごとや素朴な疑問などについて休日電話相談を実施します。相談は無料で、秘密は厳守します。

日時　10月18（土）・19日（日）午前10時～午後6時

相談窓口　県労働委員会事務局☎024-521-7594

問　県労働委員会事務局☎024-521-7594

甲種防火管理新規講習

日時　12月4日（木）・5日（金）午前9時50分～

会場　サンフレッシュ白河

受講資格　当該防火対象物において、防火管理上必要な業務を適切に行うことができる管理的または監督的地位にある方またはその地位に就く見込みの方

申込期間　10月27日（月）～11月14日（金）

問申　白河地方広域市町村圏消防本部☎0248-22-2157

原発事故による申告相談

白河税務署は、対象12市町村の納税者の方からの雑損控除や賠償金の申告相談を行います。なお、相談には予約が必要です。

実施期間　9月29日（月）～11月28日（金）※土・日・祝日を除きます。

時間　午前9時～午後5時

会場　白河税務署

対象者　被災時の納税地が田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村にあった方

問　白河税務署☎0248-22-7111

子宮頸がん・骨粗鬆症検診で早期発見

子宮頸がんは20代や30代の若年層で増加傾向にあり、初期には自覚症状がないため、検診でがんになる前の細胞を発見することが重要です。

20歳を過ぎたら、ぜひ検診を受けましょう。

日時　下表参照

場所　村保健センター

対象者　▶子宮頸がん検診…20歳～80歳▶骨粗鬆症検診…30歳～80歳　※検診の希望調査で申し込まなかった方も受診できますので、村保健センターにご連絡ください。

料金　500円（無料クーポン券対象者と75歳以上は無料）

■日時および対象地区

実施日	受付時間	対象地区
10月21日（火）	午前８時30分～９時30分	赤坂東野・石井草区、富田区、渡瀬区、青生野区
11月６日（木）	午後１時～２時	赤坂西野区、西山区、赤坂中野区

※対象地区で都合が悪い方は、都合が良い日に受診してください。

問　村保健センター☎29−1231

不正軽油は作らない・売らない 買わない・使わない

県は、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、不正軽油の排除に取り組んでいます。

不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供については、県庁税務課または最寄りの地方振興局県税部にご連絡ください。

問　県庁総務部県税課☎024−521−7205／県南地方振興局県税部☎0248−23−1519

October
10

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
	10/1 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00［保］	2 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日	3 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	4
7 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●乳がん検診（マンモグラフィのみ実施） …9:00～10:00、13:00～13:30 受付［保］	8 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●おはなしの森… 16:00～［図］	9 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］ ●やまゆり保育室［こ］ ●県知事選挙告示日	10 ●乳がん検診…9:00 ～ 10:00、13:00～13:30 受付［保］	11
14 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	15 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●やまゆり乳児室［こ］	16 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	17 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	18
21 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診（21ページ参照）	22 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●献血（20ページ参照）	23 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	24	25 ●壇の岡祭／鮫川中
28 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	29 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00［保］	30 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	31 ●村県民税などの納期限	11/1
4 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	5 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	6 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日 ●やまゆり保育室［こ］ ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診（21ページ参照）	7 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00［保］	8

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

8月届け出分・敬称略



中川西　鈴那（すずな）・女
平26.7.28生
住所…中内
保護者…健太・香央里



泉田　花撫（かなで）・女
平26.7.28生
住所…中
保護者…陽・小百合



須藤　壮琉（たける）・男
平26.8.6生
住所…名下
保護者…清二・知映



大森　心陽（こはる）・女
平26.8.13生
住所…余所内
保護者…秀行・春美

おくやみ

8月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
田中	市川　フミ	8. 9	89歳
追木	水野　福榮	8.25	80歳

人の動き

9/1現在・（　）は前月比

人口	3,852人	（－ 3）
男	1,949人	（－ 3）
女	1,903人	（± 0）
世帯	1,162戸	（－ 3）

寄付寄贈

8月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…増子信男（田中）　水野勉（追木）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■2日間広報紙作りをやって、インタビューに行ったり実際に記事を書いたりとても忙しい2日間でした。しかし、インタビューに行って鮫川村民の温かさを改めて感じました。協力して下さった方、ありがとうございました。（鮫川中2年・矢吹瑞樹）

■いつも楽しみにしている鮫川村の広報紙の裏では取材やインタビューなどでとても忙しく、前田さんはこのような事を一人でやっていたことに驚きました。私は今回の職場体験で仕事の大変さを感じました。
（鮫川中2年・藤田菜月）

■「認知症サポーター養成講座」を取材した際、初めて知ることが多く衝撃を受けたことがきっかけで今回の特集を組みました。皆さんが関心を持ち、理解を深める機会になればと思います。また、編集にあたっては、難しい問題にも関わらず「専門家や周囲の人と情報交換をして協力を得ることの大切さを伝えられれば」と蛭田一雄さんが快く取材を受けてくださいました。ご協力に深く感謝いたします。　（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
5 ㊡ 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 ●親子読書教室…10:00～[図] 第1日曜日は環境美化の日	**6** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
12 ㊡ つちやクリニック（塙町）☎43-2250	**13** 体育の日 ㊡ 東白川中央医院（棚倉町）☎33-3263 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
19 ㊡ おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 ●第27回高原の鮫川うまいもの祭り	**20** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
26 ㊡ 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 ●さめっ子フェスティバル／鮫川小 ●学習発表会／青生野小 ●県知事選挙投票日	**27** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
2 ㊡ 木村医院（矢祭町）☎46-3528 第1日曜日は環境美化の日	**3** 文化の日 ㊡ あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●第19回村少年主張大会、第12回音楽発表会…9:00～[公]

平成26年10月1日発行（毎月1日発行）
第726号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み
Episode_13

矢吹堅壽さん　カヲルさん
赤坂西野字官沢／昭和36年４月結婚

50年は忙しくてあっという間だったと振り返る矢吹さん夫妻。結婚して間もなく、堅壽さんは郵便局に勤め、カヲルさんは家事、子育て、農業をこなしていました。「あまり子どもにかまってやれなかった。よく育ったもんだ」と笑いました。

結婚生活の思い出は、１泊２日の沖縄旅行。史跡巡りなどを満喫した帰りの飛行機で、強風のために空港に着陸できないというハプニングが起こり、印象深かったといいます。

現在は、クロリティーに参加することが楽しみとなっています。また、「久しぶりに２人でゴルフにも行きましょう」と顔を見合わせてほほ笑みました。

こちら **村長室**

▼震災から3年半、『フクシマの悲劇』を「フクシマの奇跡」にするために』という福島県立医科大学・菊地臣一学長のお話です。▼地震災害直後に原発事故がふりかかりました。このままでいたら総崩れになると思ったそうです。「大学病院が引き上げたらハブ（中心）がなくなり、配電盤の機能が失われてしまう。ここが最後の砦だ。ここから逃げ出すわけにはいかない」と腹をくくったといいます。総崩れというのは県民の人心不安です。放射能の健康被害を分かりやすく、きちんと説明できる人が日本にはほとんどいません。そこで専門の先生に来ていただき、それから毎日、職員や県民をはじめ、あらゆる所に説明に回ったから今があるといいます。▼福島県民自らが立ち上がり、前向きな姿勢を見せなければならないでしょう。原発の廃炉作業もやらなくてはいけません。でもその確かなノウハウはどこも持っていません。次世代の若者を福島のチカラに育てなければフクシマの奇跡は起こりません。頑張っていきましょう。

大樂勝弘